

7. 関係機関・各団体の活動

7. 関係機関・各団体の活動

応が困難な利用者へおにぎり(炊き出し)の配布

- ・対象者:一人暮らしの高齢者及び障がい者
- ・実施日:平成23年3月14日

6. 郡山医師会

(1) 郡山医師会災害医療救護対策本部の設置

震災直後に上記本部を郡山市医療介護病院に設置し、郡山市災害対策本部のある開成山野球場に設置された医務室へ医師を派遣しました。

3月14日の朝までは郡山市医療介護病院及び郡山市健康振興財団の医師と郡山市の保健師が24時間対応し、その後引き続き4月4日の朝まで星総合病院の医師と看護師が全面協力しました。さらにその後の1週間は、郡山市医療介護病院の看護師が昼間のみ対応し派遣を終了しました。



郡山医師会災害医療救護対策本部を設置

(2) 郡山市医療介護病院を臨時避難所に開放

地震発生直後から近隣の住民の方々が当院に避難され、おにぎりや毛布の提供を行いました。

(3) 入院患者の転院

市内2病院の機能喪失のため、入院患者を市内各病院等へ転院させました。

(4) 避難所(市の施設)への巡回診察

3月12日から、各避難所の近くの開業医を選任し、巡回診療を依頼しました。当初、約100か所の避難所を約60名の医師で巡回していましたが、6月末で全避難所が閉鎖となったため、巡回を終了しました。

(5) 避難所(県の施設)への巡回診察

3月23日から、主に相双地区からの避難者が入居している避難所への巡回診察を行いました。各担当病院を決め巡回診察を依頼しました。精神科、眼科の医師にも担当を決めて巡回を依頼しました。当初11か所の避難所を8病院に依頼して巡回していましたが、8月末で全避難所が閉鎖となったため、巡回を終了しました。

(6) 郡山市震災後子どもの心のケアプロジェクトチームの設置

<避難者を含めた郡山市の子どもたちの心のケア対策>

平成23年3月29日、郡山医師会、郡山市、郡山市教育委員会を柱に、助産師、保健師、保育士、臨床心理士、読み聞かせボランティアで立ち上げました。(詳細は76ページ参照)

(7) 放射線健康被害に関する研修会等

放射線の健康に与える影響と対策について理解を深めるため、研修会等を開催しました。

・平成23年3月19日「放射線障害について」

講師:財団法人厚生会仙台厚生病院放射線科 山口 慶一郎 先生

会場:郡山市医療介護病院

・平成23年5月25日「原発事故による放射線健康リスクについて」

講師:福島県放射線健康リスク管理アドバイザー

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長 教授・医学博士 山下 俊一 先生

会場:郡山市医療介護病院

・平成23年9月16日

「園医・校医・かかりつけ医が心得ておくべき放射線被ばくの基礎知識」

講師:産業医科大学医学部放射線衛生学講座 岡崎 龍史 先生

会場:郡山市医療介護病院

・平成24年4月27日

「県民健康管理ファイルについて」

講師:福島県保健福祉部健康衛生総室 健康管理調査室 主幹 小谷 尚克 先生

「放射線健康リスクの考え方に差があるのはなぜか?」～今後の方向性を考えるうえで～

講師:福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座 教授 大津留 晶 先生

会場:郡山市医療介護病院